

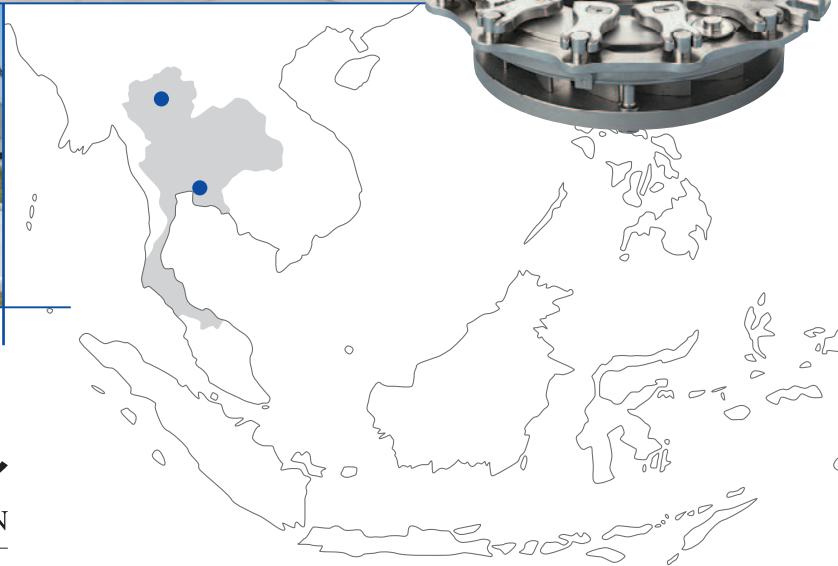
株主通信

Vol.17 2010年3月期 2009.4.1～2010.3.31

INSIGHT & INFORMATION



「ニチダイタイランド」が、量産を開始しました。自動車の世界的な生産集積地へと進化するタイで、ターボチャージャー部品の組み立て事業を担う中核拠点です。



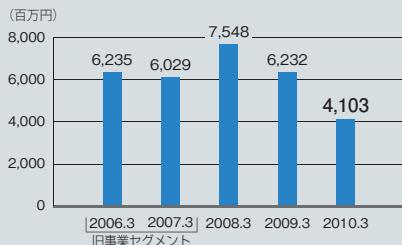
株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467

ニチダイグループの事業と製品

ネットシェイプ事業

売上高の推移



● ネットシェイプ事業のバリューチェーン



ニチダイは、金型製作・販売はもとより、お客様の製品開発をパートナーシップで支援し、その開発から量産に至るまでの精密鍛造技術を提供します。

■ 技術・強み

ニチダイは、高精度・高強度の自動車部品を一発のプレスで成形できる精密鍛造金型の開発、生産を行っています。

そのコアとなる技術「ネットシェイプ」は、金属の素材を、削らず熱を加えることもなく複雑な形に仕上げる理想の加工技術です。ネットシェイプは切削加工と比べて材料を3分の1にまで減らすことや、生産速度を従来の5～10倍まで高めることが可能で、生産効率に大きなメリットをもたらします。

ニチダイは、金型生産のみならず、研究開発から金型設計、精密鍛造品の部品製造までをカバーできるトータルエンジニアリング

力で、省資源・省エネルギーを実現するライン作りに貢献しています。

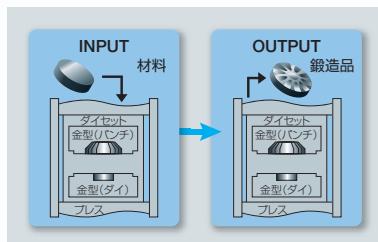
■ ユーザー

ネットシェイプは主に、エンジン、トランスミッション、駆動関連などの自動車部品製造に利用されています。

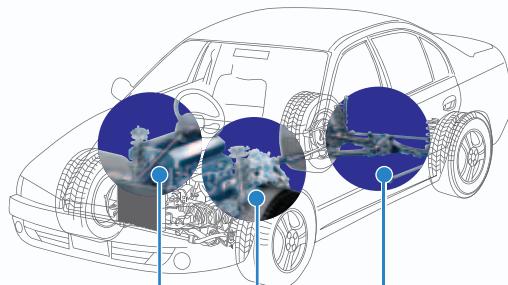
当社金型の約80%は自動車関連企業で使われておりますが、特定メーカーに偏重することなく、すべての国内メーカー系列と取引しているほか、海外のメーカーにも納入しています。

また、エアコンに使用されるスクロール部品など一部精密鍛造品の生産も行っています。

● 精密鍛造工程



● ネットシェイプで成形できる主な自動車部品



エンジン関連部品



トランスミッション関連部品



駆動関連部品

アセンブリ事業

技術・強み

VGターボチャージャーはディーゼルエンジンに組み込まれ、NOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)などの有害物質の排出削減や低燃費、スムーズな加速などを実現します。環境規制の強化に伴い、近年注目を浴びているクリーンディーゼル車に必要とされる機構です。

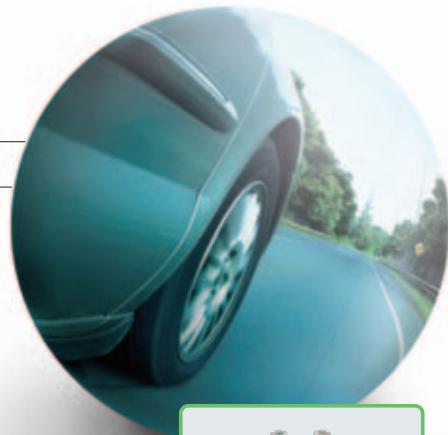
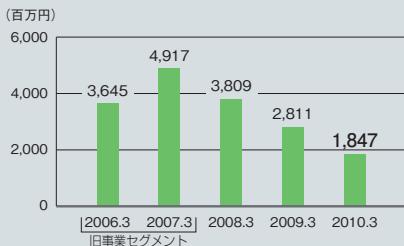
当社は、これに組み込まれる部品を独自の技術により組み立てています。

ユーザー

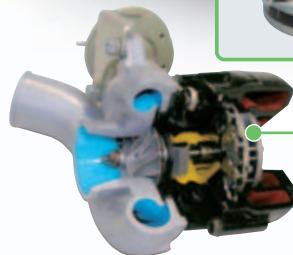
当社が組み立てた部品は三菱重工業株式会社へ納入され、VGターボチャージャーに組み

込まれた後、主に、欧州向けの乗用車に搭載されます。欧州では、他地域よりもディーゼルエンジン車が普及しており、環境規制対応のための開発が進められています。

売上高の推移



VGターボチャージャー部品



フィルタ事業

技術・強み

「ろ孔」サイズ・形状が異なる何枚ものステンレス金網を、独自の積層焼結技術により一体構造化したフィルター製品の開発、生産を行っています。

このフィルターは幅広い過精度に対応し、機械的強度、耐熱・耐寒性、加工性などに優れた特性を発揮します。また、当社のフィルターは洗浄して何度でも再利用することができます。省資源にも貢献しています。

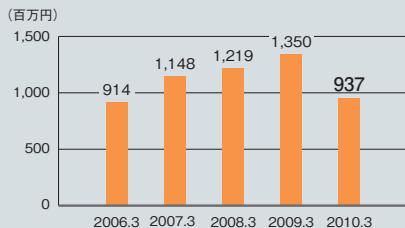
ユーザー

石油、ガス、原子力などのエネルギー分野、

プラスチックなどの化学分野から繊維・医薬品・食品分野など幅広い産業で採用されています。

また、厳しい品質基準の下で高い信頼性を要求されるロケットの燃料ろ過にも使用されています。

売上高の推移



積層焼結金網フィルター

決算ハイライト

■ 単独 ■ 連結

売上高

* 百万円未満は切り捨て。



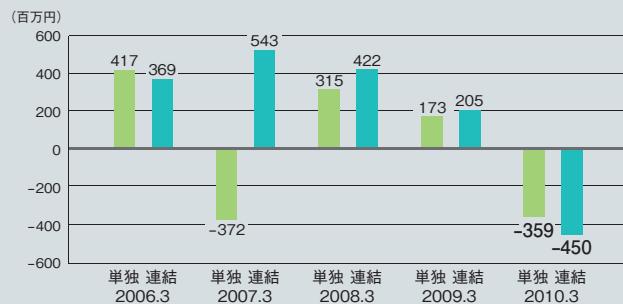
経常利益

* 百万円未満は切り捨て。



当期純利益

* 百万円未満は切り捨て。



1株当たり当期純利益

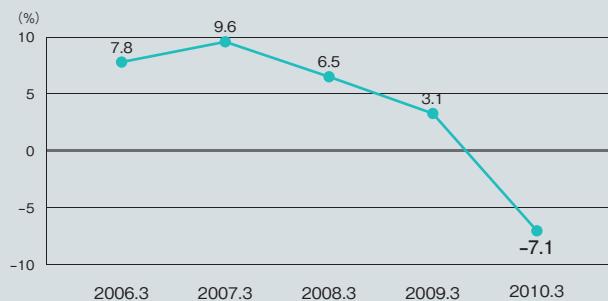


純資産

* 百万円未満は切り捨て。



ROE



社長メッセージ

回復しつつある市場の中で、顧客ニーズの変化に即応。再成長に向けた取り組みを着実に進めます。

前年度からの世界的な景況悪化の影響を受けて、2010年3月期は大幅な減収となり、当期純損失を計上することになりました。誠に遺憾ではありますが今年度の期末配当は、中間期にご報告申し上げますとお見送りとさせていただきます。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。ただ、状況好転の兆しは確かなものとなりつつあり、次期は再び成長軌道に戻るよう全力で取り組みます。

Q 当期(2009年4月～2010年3月。以下、当期)の業績について教えてください。

A 第1四半期を底に売上が増加、第4四半期には経常利益で黒字転換を果たしました。

当期の連結売上高は、68億8千7百万円(前年同期比33.7%減)、連結営業損失4億1千2百万円、連結経常損失4億1千9百万円、当期純損失4億5千万円となりました。上半期は、2008年のリーマン・ショック以降続いた景気低迷による、自動車産業の急激な需要減退への対応に追われました。しかし下半期に入り、それぞれ様相は異なるものの、各事業とも回復に転じております。その結果、四半期ベースの経常利益でみると、第1四半期から第3四半期までは損失を計上しましたが、第4四半期には売上高回復により4千5百万円の経常利益を計上するに至りました。

事業別では、主力のネットシェイプ事業が、売上高41億3百万円(前年同期比34.2%減)となりました。上半期は落ち込みましたが、下半期には新車買い替え補助金制度による販売台数の増加を受けて国内主力ユーザーからの受注が回復してきたこと、韓国や中国などアジア



代表取締役社長 古屋 元伸

市場向けの需要が伸びたことから、売上高は増加に転じています。

アセンブリ事業では、主力納入先となる欧州自動車市場が低迷した影響を受け、ターボチャージャー部品の売上高が大きく減少し、売上高18億4千7百万円(前年同期比34.3%減)となりました。一方、当事業の海外生産拠点であるNICHIDAI (THAILAND) LTD.は、当初の計画どおり第4四半期より量産を開始しております。

■ 四半期ごとの売上高・経常利益の推移 (連結)



*百万円未満は切り捨て。

【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。

社長メッセージ

フィルタ事業は、国内市場における民間設備投資意欲が落ち込んでいること、石油掘削用フィルターが低迷していることから、売上高は9億3千7百万円(前年同期比30.6%減)となりましたが、ヘルスケア製品向けなどの新製品における売上増が減収をカバーしており、通期では営業利益4千6百万円(前年同期比64.4%減)を確保しております。

Q 次期以降の経営戦略について教えてください。

A 経営方針「顧客満足の徹底」に基づき、技術開発とグローバル化に取り組み、改革を進めます。

当社グループの主要顧客業界である自動車産業については、先行きに不透明感が残るものの、今後の方向性が読める状況になってきました。業界全体として昨年来の景況悪化で大きく落ち込んだ状況から一転、本格的な回復への動きが見られます。ただ、

以前と比べると、変化が非常に早くなっています。

こうした顧客動向に着実に対応するために当社グループは、次年度より「顧客満足の徹底」を方針に掲げて、「技術開発の推進」「グローバル化への対応」に取り組み、役員、役職、人員構成などの改革を進めます。

技術開発については、今後10年で国内シェアが最大18%程度に達すると見込まれるハイブリッド車や電気自動車の普及に対応するため、次年度には開発室を設置し、パワートレインの変化に対応した製品開発や、自動車分野以外の新用途開拓を進めます。

グローバル展開については、各事業とも現在の拠点を活かしながら、成長著しいアジア地域への対応を中心に強化していきます。特にネットシェイプ事業では、グローバル展開を強化するために、当社独自の技術を核とした精密鍛造事業を立ち上げ、開発から金型そして生産まで一連のプロセスをカバーする形で鍛造部品の量産を開始します。

部門別売上高と損益の状況



売上高 (百万円)

	2009年3月期	2010年3月期	
	実績	実績	伸び率
国内	4,365	2,886	△33.9%
海外	897	651	△27.4%
アジア	442	547	23.8%
北米	434	88	△79.6%
その他	21	15	△29.1%
金型計	5,262	3,537	△32.8%
精密鍛造品	969	566	△41.6%
ネットシェイプ計	6,232	4,103	△34.2%
アッセンブリ	2,811	1,847	△34.3%
フィルタ	1,350	937	△30.6%
連結計	10,394	6,887	△33.7%

損益 (百万円)

	2009年3月期実績		
	売上高	営業利益	利益率
ネットシェイプ	6,232	117	1.9%
アッセンブリ	2,811	68	2.4%
フィルタ	1,350	129	9.6%
連結計	10,394	315	3.0%
	2010年3月期実績		
	売上高	営業利益	利益率
ネットシェイプ	4,103	△327	△8.0%
アッセンブリ	1,847	△131	△7.1%
フィルタ	937	46	4.9%
連結計	6,887	△412	△6.0%

*百万円未満は切り捨て。

Q 次期の業績予想について教えてください。

A 上半期は緩やかな上昇、下半期からの本格的な回復を見込んでいます。

ネットシェイブ事業は、国内では主力ユーザー向け金型需要の下半期からの本格的な回復に加えて、海外では米系部品メーカー向けの鍛造部品の量産開始による売上高増加を見込んでおります。

アッセンブリ事業は、欧州における自動車市場の回復および新興国市場向け需要の増加などを背景に、NICHIDAI(THAILAND)LTD.でのターボチャージャー部品の本格的な量産開始を見込んでおります。

フィルタ事業は、国内における民間投資の停滞とTHAI SINTERED MESH CO., LTD.の主力納入先である石油掘削市場の停滞がしばらく続く予想されるなか、新用途およびアジアを中心とした海外市場の開拓に取り組み、既存需要の減少を補うよう努めます。加えて当期同様に、全社的なコスト削減活動にも取り組みます。

以上を踏まえて、次期の業績は、売上高90億円(前年同期比

30.7%増)、営業利益3億円、経常利益2億円、当期純利益1億5千万円を見込んでおります。

Q 配当について教えてください。

A 中間3円、期末3円の合計6円を予定しております。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。従いまして、業績回復に向けた経営戦略を着実に実行し、できるだけ早く復配することを念頭においた方針を持っております。

このような配当政策のもと、次期の配当につきましては、中間3円、期末3円の合計6円の配当を予定しております。

当社グループとしましては、改革を含む諸施策を確実に実行し、早期の業績回復に向け全力で取り組んでまいり所存です。株主の皆さまにおかれましてはご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■各事業における今後の方針

事業	技術開発の推進	グローバル化への対応
ネットシェイブ事業	<ul style="list-style-type: none"> ●精密鍛造部品量産を含む精密鍛造に係る技術をコアとした成長戦略の推進→精密鍛造品量産事業の立ち上げ。 ●電気自動車や自動車以外の市場をターゲットにおいた精密金型市場の確立→次期より開発室を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> ●将来における海外展開を見据え、精密鍛造に関わるバリューチェーン全体を見直すことによるQCD(品質、コスト、納期)の改善。
アッセンブリ事業	<ul style="list-style-type: none"> ●国内拠点の新事業開発拠点としての位置づけの明確化。 ●ターボチャージャー部品における塑性加工技術を活かした工法開発への取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ●量産ベースがニチダイタイランドにシフトしていくことに伴う、ニチダイプレジジョンとの連携強化。
フィルタ事業	<ul style="list-style-type: none"> ●新製品、新用途、新市場の開拓→排ガスフィルターなどへの対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイシンタードメッシュを拠点としたアジア戦略の推進→石油掘削用フィルター以外の製品拡大。

■1株当たり配当金



*2007年3月期は、中間、期末とも普通配当金7.5円、記念配当金2.5円、合計10円。

主要連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前連結会計年度末	当連結会計年度末
	2009年 3月31日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,670	1,413
1 受取手形及び売掛金	2,090	2,401
たな卸資産	1,146	1,167
2 その他	500	160
貸倒引当金	△ 3	△ 3
流動資産計	5,404	5,139
固定資産		
有形固定資産	5,282	5,170
無形固定資産	31	61
投資その他の資産	795	833
固定資産計	6,110	6,064
繰延資産計	8	1
資産合計	11,522	11,205

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

1 売掛金の増加

09/3期第4四半期から10/3期末にかけて売上高が段階的に増加した影響により増加しました。

2 流動資産その他の減少

前連結会計年度末には法人税納付還付、ニチダイアメリカ譲渡などによる未収入金を含んでいます。

3 買掛金の増加

09/3期第4四半期から10/3期末にかけて、受注、売上高が段階的に増加した影響により増加しました。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前連結会計年度末	当連結会計年度末
	2009年 3月31日現在	2010年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
3 買掛金	231	607
短期借入金	612	787
一年以内に返済予定の長期借入金	615	900
一年以内に償還予定の社債	10	—
未払法人税等	56	40
賞与引当金	111	115
その他	410	321
流動負債計	2,047	2,771
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	1,525	891
退職給付引当金	8	21
その他	93	76
固定負債計	2,626	1,988
負債合計	4,674	4,760
(純資産の部)		
資本金	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	4,078	3,627
為替換算調整勘定	△ 109	△ 81
その他	△ 0	10
少数株主持分	257	264
純資産合計	6,848	6,444
負債純資産合計	11,522	11,205

* 百万円未満は切り捨て。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	10,394	6,887
売上原価	8,395	5,963
売上総利益	1,999	923
4 販売費及び一般管理費	1,683	1,336
営業利益(△は損失)	315	△ 412
営業外収益	44	66
営業外費用	168	73
経常利益(△は損失)	190	△ 419
特別利益	30	—
特別損失	483	4
税金等調整前当期純損失(△)	△ 262	△ 423
法人税、住民税及び事業税	60	36
法人税等調整額	△ 537	△ 1
少数株主利益(△は損失)	8	△ 8
当期純利益(△は損失)	205	△ 450

* 百万円未満は切り捨て。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	1,429	1,192	4,078	△ 1	6,699	0	△ 109	△ 109	257	6,848
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当										
当期純損失(△)			△ 450		△ 450					△ 450
自己株式の取得										
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						11	28	39	7	46
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 450	—	△ 450	11	28	39	7	△ 403
平成22年3月31日残高	1,429	1,192	3,627	△ 1	6,249	11	△ 81	△ 69	264	6,444

* 百万円未満は切り捨て。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計期間	当連結会計期間
	2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,033	270
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 632	△ 321
財務活動によるキャッシュ・フロー	395	△ 230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 135	21
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	661	△ 259
現金及び現金同等物の期首残高	658	1,320
現金及び現金同等物の期末残高	1,320	1,060

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

- 4 販売費及び一般管理費の減少**
各種コスト抑制策により、減少しました。
- 5 営業活動によるキャッシュ・フロー**
10/3期損失計上及び売上債権増減の影響により減少しています。
- 6 投資活動によるキャッシュ・フロー**
設備投資抑制の影響によります。

ネットワーク

関連会社 (2010年3月31日現在)

- ① ニチダイフィルタ株式会社
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
 - ② ニチダイプレジジョン株式会社
京都府京田辺市薪北町田 13
 - ③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8, 700/882 Moo 5, TB, Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
 - ④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
 - ⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION
15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA
 - ⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.
Amata Service Center Building Room 206/1 FL.2 700/2 Moo 1, Tambon Klongtamru, Amphur Muang, Chonburi 20000 Thailand
- ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業

国内の主要な事業所 (2010年3月31日現在)

- 本社
京都府京田辺市薪北町田 13
- 宇治田原工場
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
- 熊谷営業所
埼玉県熊谷市桜木町 2-88
- 浜松営業所
浜松市中区高丘西 1-10-20
- 名古屋営業所
名古屋市中千種区桜が丘 295 第8オオタビル
- 京都営業所
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
- 岡山営業所
岡山市北区辰巳 22-103 TCKビル



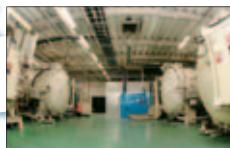
本社



宇治田原工場



THAI SINTERED MESH CO., LTD.



ニチダイフィルタ株式会社



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



ニチダイプレジジョン株式会社

会社概要・株式情報

会社概要 (2010年3月31日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市新北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	420人

役員 (2010年6月29日現在)

代表取締役社長	古屋元伸
取締役	瀬川秀実 (営業本部本部長)
取締役	島崎定 (部品部ゼネラルマネージャー、 ニチダイプレジジョン株式会社代表取締役社長、 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長)
取締役	畑中恵二 (生産本部本部長、 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長、 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長)
取締役	辻寛和 (管理本部長 兼 経営企画室長)
監査役(常勤)	萩野雅章
監査役	小原正敏
監査役	堤昌彦

株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	3,162名

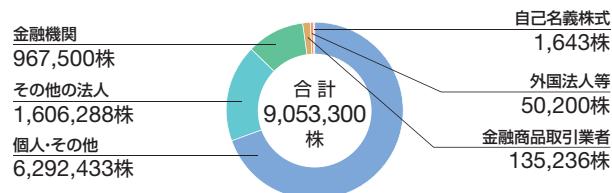
大株主 (2010年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78 %
田中克尚	497,688	5.49 %
ニチダイ従業員持株会	441,144	4.87 %
中棹知子	282,600	3.12 %
古屋啓子	272,600	3.01 %

所有者別分布 (2010年3月31日現在)



所有者別株式数分布 (2010年3月31日現在)



アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。

この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。

つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本 社 TEL.(0774)62-3481(代)



URL

<http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を
深めていただくために、
ホームページをご活用ください。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。

つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-7777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公 告 方 法 電子公告
当社ホームページ (<http://www.nichidai.jp/>)
にて掲載

単 元 株 式 数 100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。